

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

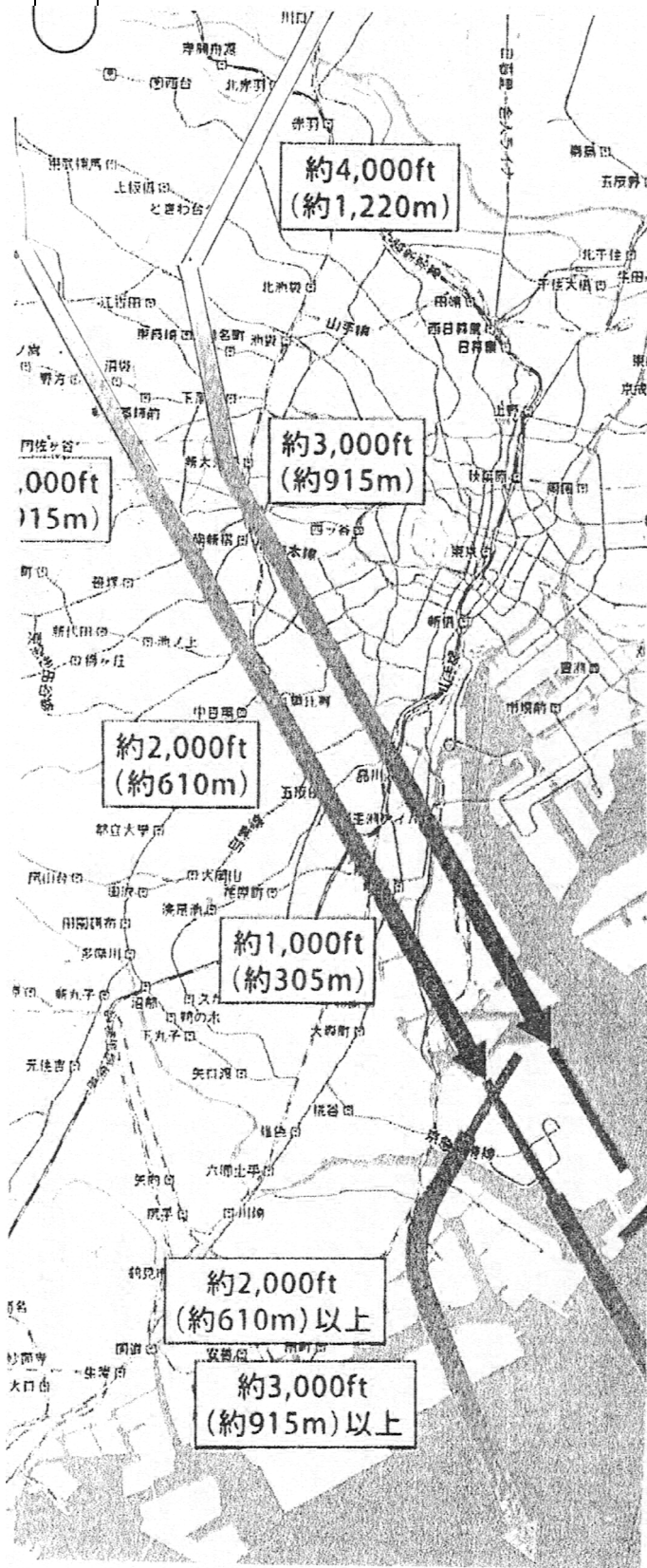
181号

2016年6月28日



常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869



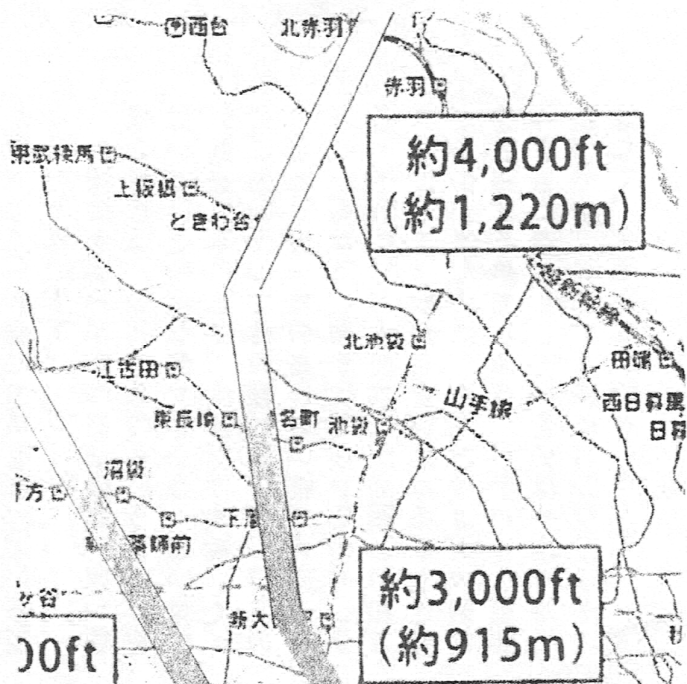
○ 常盤台の真上です！

— 板橋区上空を1時間44便も —

羽田空港増便について、6月3、4日（地域センター）、6日（成増アクトホール）、国交省による説明会がありました。なんとまさに常盤台の真上を通る案ではありませんか。左は4月19日に発表された案、下は常盤台周辺の拡大図です。1時間に最高44便（1分半に1機）飛ぶのです。騒音被害は想像が付きません。板橋区都市計画課と環境課に以下のことを申し入れました。

- 1、板橋区民に周知徹底させること（今回3日間で159人しか来ていません）
- 2、会議型の説明会を開くこと

区報に2度も載せたそうですが、漠然とした『羽田空港増便について』というお知らせでは板橋区民に関係あると誰も思いません。特に安心安全を目標とする町会組織には、もっとこの問題に積極的に取り組んでいくことを期待しています。これまで東京湾側から出入していたのを過密都市東京上空に変えることが問題なのでは？



バザーのお知らせ

七月十日(日)十時～四時

常盤台小学校正門前のガレージ

(バザー前日の七月九日(土)午後一時～三時
当日と同じ場所で、品物をお受けします)

衣料品はできるだけ新品をお願いします。大きなもの、重い物は売れなかった場合、お引き取り願うこともあります。お買い上げもよろしくお願いいたします。

「公園の花づくりの会」手づくりのマーマレードもよろしく!!

「さくらのこえ」紹介

堀江菜穂子さんが詩集を出しました。菜穂子さんは板橋区在住の二十一歳のお嬢さんです。はたちの成人式をベッドの上で迎えたことを朝日新聞の声欄にお父様が寄稿したのを読んだ人もいるかと思えます。菜穂子さんは生まれた時から脳性麻痺の障害があり、ひとりでは手足を動かすことさえできません。

しかし、周りの人に助けられて、ひとつひとつ絞り出されるように書かれた詩は、感謝とやさしさに満ち、当たり前の健康体での生活に慣れ切っている私たちの心をうつのです。

とりわけ最後のあとがきの詩では、自我のめざめや葛藤、確立の過程がたどられ、青少年の成長の貴重な参考例となることでしょう。七月十日のバザーで、詩集「さくらのこえ」は五百円＋送料でお分けできると思っています。

もつと政治を語ろう!

最近特に自由な意見を言わずらくなる風潮があります。こんな小さなコミュニティ紙でも、人からこのごろ政治的な意見が載っているけれど止めたほうがいい、と忠告?されました。その忠告に従って、無難なことばかり載せるようになれば、日本人お得意の自粛とやらになってしまうことでしょうか。

「中立」という便利な言葉があります。中立という隠れ蓑をまとってしまつと、一見どちらの側にも立たないように思えますが、実際には現状維持の側に味方することになります。要するにその問題には責任を取りたくないし、もし損な立場にでもなつたら困るので、とりあえず体制派に属しておこうという、保身とか自己防衛本能が働くのでしょうか。

「まちづくりニュース」は二〇〇三年、常盤台の景観を守る会が、まちづくりの観点から景観・環境の価値の高い常盤台をより良い街とするために独自で作ったものです。毎回二十人以上の住民がボランティアで配布してくださっていることで存続していますが、単なるお知らせではなく、自由な意見発表の場を提供しています。変に萎縮したりせずに、普段からもつと政治に関心を持ち、それぞれが日常的に政治上の意見を交換できるようにしたいものです。

「私の終わらない旅」上映予告

七月九日(土) 一三時半～一五時

泉の森会館(小田急線狛江駅二分)

主催 全国景観市民ネット

常盤台公園のはなづくり

六月十日の朝、花屋さんが軽トラックでたくさんさんの苗や肥料を届けてくれました。二人の助っ人を交えて六人で手際よく植えたので、今年は十二時前に終えることができました。

植えた日はお天気が良過ぎでした。本当は曇りの日に植えて、そのあと雨が降ってくれるのが最高なのですが…

街を歩いていると、アジサイが素晴らしい色合いです。常盤台に住んでいると、各地からの花だよりに誘われて、わざわざ遠方まで出かけなくても、近所を散歩すれば季節の花に巡り合えるのは嬉しいことです。それだけ皆さんが、家の内部だけでなく、外側にも気を使っている街なのだと思います。

外国の街並みがきれいなのは、家や垣根の外観は、公共のものという意識が根付いているからなのでしょう。古い家の外観を大事にして、内部だけ改装して何代にもわたって住み続けるので、日本のように一世一代の高い買い物で資産を失うこともなく、豊かに暮らせるのでしょう。それにしても日本人が周囲との和を大事にして、他からとびぬけることを嫌がるのが常なのに、住宅だけは何故個性を主張するのでしょうか。バラバラな街並みを目に優しくしているのはやはり緑のようです。せめて垣根はコンクリートではなく、生垣にしたいところです。